

令和5年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」  
及び「学校関係者評価報告書」



大阪市立野中小学校

令和6年3月

# 大阪市野中小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1. 学校運営の中期目標

### 現状と課題

#### 【安全・安心な教育の推進】

本校は昨年度、創立80周年を迎えた。児童の暴力的な行動も少なく、大きなじめの事例もなく、学校全体として落ち着いた状態である。

しかし、数年間の新型コロナウイルス感染症の拡大という問題が出てきたことで、不登校の児童が増加し、不登校児童の登校日数もさらに減ってきている現状にある。不登校児童は、家庭的な要因等、難しい問題を抱え、解消については困難な点も多いが、今年度も安心して登校できる状態を学校全体として維持しながら、様々な方面からの取り組みを行っていく必要がある。

昨年度は、校内アンケートの「学校は楽しいですか」では、肯定的な回答が、平均して85%以上あったが、学年によってばらつきがあった。

また、「学校のきまりを守っていますか」のアンケート結果でも、平均して肯定的回答が80%以上ではあったが、下回る学年もあり、学年によってばらつきがある。これからも継続的に規範意識を高めていく必要があると考える。

また、本校の特徴として、自己肯定感、自尊心が低い傾向が何年も続いていたが、昨年度の2回目の校内アンケートでは、「自分にはよいところがあると思う」という項目については肯定的な回答が平均して70%を超え、これまでに比べて改善傾向を示している。本校の課題である自尊心の向上を、今年度についても、いろいろな機会や場を工夫し児童に多くの成就感、達成感を味わわせることで達成していきたいと考える。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

本校は、数年に渡り、全教科の学力の基礎ともいえる国語科の学力向上モデル校として、国語科の研究に取り組んできた実績や、算数で習熟度少人数体制の指導に力を入れ取り組んでいることで、昨年度の全国学力学習状況調査や経年調査においても、全国や大阪市の平均を上回る結果を得られる教科も少なくなかった。しかし、学年、また、個人によって学力に大きな差があり、個に応じた指導・支援が必要である。

体力に関しては、昨年度は、男女とも、握力、上体起こし、50m走、ソフトボール投げについては、大阪市及び全国より高い結果であった。反対に、長座体前屈、20mシャトルランについては低い傾向にあった。体力合計点については、大阪市の平均は超えているが、全国よりも低い傾向にある。コロナウイルスの感染による影響も少なくなる中、体育の授業や体育的取り組みを工夫し、より体力の向上を図っていく必要がある。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

一人一台端末を活用し、各教室での授業に有効活用している。今年度も、個別最適な学びと協同的な学びを実現するために、さらなるICTの効果的な活用についての取り組みを進めていく。

学校図書館に関しては、昼休みの図書館開放や、図書館司書の協力による蔵書の選定や管理、学級文庫やブックトラックの入れ替えなどの取り組みを行っている。今年度も学校図書館を活性化し、授業での様々な学習における利活用の促進を行う。

一方、生涯学習やぐくみネットを中心に児童に関わる取り組みをしていただき、健全育成に寄与してもらっている。昨年度は、感染予防の観点から、実施できなかった地域の方々との交流も徐々に再開することができた。今年度は、保護者、地域の方々に関わっていただく行事も再開できると考えている。学校行事をこの機会に再検討し、現在の状況にあった時期や内容で、よりよい実施ができるようにしていく。学校行事の内容や変更については、保護者や地域に発信し、理解を得ていきたいと考えている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 令和7年度の校内調査の暴力行為を複数回行う児童の数を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的回答をどの学年も85%以上にする。
- 令和7年度の校内調査の新たに不登校になる児童の割合を0にする。
- 令和7年度の、校内アンケートの「学校は楽しいですか」「友達と遊ぶのは楽しいですか」「すすんでいきたいと思いますか」の肯定的な回答をどの学年も85%以上にする。
- 令和7年度の校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を、どの学年も80%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国・学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率をいずれの学年も大阪市より2ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。
- 令和7年度の校内アンケートの「体育の授業は楽しいですか」の肯定的な回答を85%以上にする。
- コロナウイルス感染症の予防について理解させ、自分の健康に关心を持つ児童を育成する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業において学習者用端末を毎日使用し、ICTの効果的な活用を図る。
- ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 児童に対する個別支援の体制を強化するために、教育ブロックの制度を活用し、学びサポーターの人材をより多く確保し、効果的な活用を工夫する。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えよう努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を85%以上にする。

## 2. 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- 2回実施する校内アンケートの「学校のきまりが守られていますか」「学校は楽しいですか」「友達と遊ぶのは楽しいですか」「すすんであいさつしていますか」の肯定的な回答を、どの学年も1回目より2回目を増加させる。
- 2回実施する校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、65%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査でどの学年も国語科および算数科の平均正答率を大阪市の平均より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。
- 5年生については、教育委員会の「ブロック化による学校支援事業」、6年生については区役所の「よど検」の事業を活用し、漢字能力検定試験に取り組むことで、基礎学力と学習意欲を向上させる。
- 校内アンケートの2回目の「国語の学習は楽しいですか」の肯定的な回答を、どの学年も55%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。
- 校内アンケートの2回目の「体育の授業は楽しいですか」の肯定的な回答を、どの学年も75%以上にする。
- 1学期の体力テストの結果が良くなかった項目については、別の機会を設けて再度実施し、得点が向上するようにする。
- 新型コロナウイルス感染症等の感染症の予防について理解させ、自分の健康に関心を持つ児童を育成する。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 全市共通目標（小・中学校）

- ICT 活用に関する目標(授業日において学習者用端末を週 4 日以上使用する。)
- 教職員の働き方改革に関する目標(ゆとりの日を週に1回設定・実施する。)

### 学校園の年度目標

- 授業において学習者用端末を週 3 日以上使用し、ICT の効果的な活用を図る。
- ゆとりの日を週に 1 回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 児童に対する個別支援の体制を強化するために、教育ブロックの制度を活用し、学び サポーターの人材をより多く確保する。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童 の割合を 75%以上にする。
- 校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく 伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるよ うに努めている」の肯定的な回答を 80%以上にする。

大阪市立野中小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p><b>全市共通目標(小・学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2回実施する校内アンケートの「学校のきまりが守られていますか」「学校は楽しいですか」「友達と遊ぶのは楽しいですか」「すすんであいさつしていますか」の肯定的な回答を、どの学年も1回目より2回目を増加させる。</li> <li>○2回実施する校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、65%以上にする。</li> <li>○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p><b>取組内容① 【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>児童が安心して落ち着いて学校生活をおくれるよう規範意識を高める。</p> <p>( )</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の規範意識を高める機会を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回のふり返り週間を設ける。</li> <li>・年に2回の児童会による「あいさつ運動」の取り組みを行う。</li> <li>・毎回の児童朝会で啓発する。</li> <li>・看護当番によって登校時と休み時間に啓発する。</li> <li>・年3回のアンケートで規範意識の高まりを調べる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(すすんであいさつする・廊下階段を正しく歩く・チャイムの合図を守る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめに対する取り組みを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ相談機能を活用し、いじめ対策委員会で情報を共有し対応する。</li> <li>・いじめアンケートを学期に1回実施する。</li> <li>・いじめ防止強調週間を設け、互いの良さを認め合い、いじめを未然に防ぐ。</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校児童に対して組織的に取り組む。</li> </ul>	B

- ・保護者と密に連絡を取り、連絡記録簿に記入し、職員間で情報共有できるようする。
- ・生活指導部会や不登校対策委員会を開き、家庭ごとに応じた対応を学校全体で共有し取り組む。

### 取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】

児童一人一人が自分に自信を持ち、人の役に立ちたいと思うことで前向きに取り組もうとする意識を育てる。 ( )

#### 指標

○道徳科の教科書の内容項目に学習重点項目を設ける。

- ・「主として自分自身に関すること」の「個性の伸長」、「主として人との関わりに関すること」の「親切・思いやり」を重点項目にする。
- ・重点項目の学習後、ふり返りを書かせ、児童の意識の高まりを調べる。
- ・生活ふり返り週間や学校生活アンケートで、児童の態度の変容を確認しながら取り組む。

B

○学年の児童の実態に応じて、児童の自信に繋げられる取り組みを行う。

- ・自分のよさを知る取り組みやいじめについて考える日の取り組みを行い、自分も相手も互いに大切にすることを学ぶ。

### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

#### 取組内容①

生活振り返り週間や挨拶運動などを定期的に行うことで児童の意識はたかまっており学校生活アンケートにも表れている。

いじめについては、年度初めにいじめについて考える日があり、集会でのお話や、学級で話し合える課題があり考えが深まった。また、いじめアンケートの指導から児童の聞き取りを行うことで日々注意深くその後の様子を見たり、本人に経過を聞いたりし、いじめ防止に取り組めた。不登校児童への取り組みは、毎朝訪問し学校の姿勢としては十分以上のことことができている。

#### 取組内容②

2回実施した校内アンケートの「自分には良いところがあると思いますか」の質問への肯定的回答は77.5%に増えた。

道徳科の中で重点項目を指導する時間を確保し、児童の自信に繋げられるような話を意識的にしたところ、肯定的回答が学校平均83%となった。指導により豊かな心の育成に前向きに取り組むことができたといえる。

年度初めの「いじめについて考える日」は、学級づくりに役立った。

## 次年度への改善点

### 取組内容①

強調週間で取り組んでいるときは意識が高いが、過ぎてしまうと意識が下がってしまう。継続していく必要がある。重点項目については、アンケート結果も頭打ちの項目もあるので、必要のあるものを精査する必要がある。

いじめアンケートを取る時期が学期末になることがあり児童への聞き取りができないときがあるので早くに実施する。

### 取り組み内容②

その時は意識をしていても、維持するために継続が必要である。また、数値を把握しても、自己肯定感が低く、困っている児童はそのままになってしまう。自己肯定感の低い児童へのアプローチのために、他のアンケートとの併用など、学年に合わせた応用ができる教材の工夫をしたい。

(様大阪市立野中小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査でどの学年も国語科および算数科の平均正答率を大阪市の平均より1ポイント向上させる。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。</li> <li>○ 5年生については、教育委員会の「ブロック化による学校支援事業」、6年生については区役所「よど検」の事業を活用し、漢字能力検定試験に取り組むことで、基礎学力と学習意欲を向上させる。</li> <li>○ 校内アンケートの2回目の「国語の学習は楽しいですか」の肯定的な回答を、どの学年も55%以上にする。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。</li> <li>○ 校内アンケートの2回目の「体育の授業は楽しいですか」の肯定的な回答を、どの学年も75%以上にする。</li> <li>○ 1学期の体力テストの結果が良くなかった項目については、別の機会を設けて再度実施し、得点が向上するようにする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】        「主体的・対話的で深い学び」を追求し、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p style="text-align: right;">( )</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元に応じて習熟度別、少人数、TT等の学習形態を工夫する。また、習熟度別の学習では、発展活用を重視するコース、基礎基本の定着を重視するコースなど、子どもが自分に合ったコースを選べるようにする。</li> <li>○教員の授業力を高めるために計画的に研修を進めていく。また、若手研修を学期に1回実施し、指導力向上を図る。若手研修については年齢に関係なく希望者は参加できるようにする。</li> <li>○意見交流を活発に行う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア、グループ、クラスで意見交流を1日に1回は取り組み、考えを深めたり広げたりできるようにする。</li> </ul> </li> <li>○英語タイムの充実を図る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Plus Time」の研修を行う。</li> </ul> </li> </ul>	B
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】        児童が進んで楽しく運動できるよう、授業や遊び時間等の工夫を行う。また、自分の健康に関心を持つ児童を育成する。( )</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が運動に親しむ機会を増やすために、児童集会での遊具の使い方の紹介や、かけ足タイム・なわとびタイムなど、年間を通して継続的に取り組む。            (体力テストを年に2回実施し、良くなかった項目については別の機会を設け、得点が向上するようにする。)</li> <li>○運動の楽しさを味わう授業の構築・指導法を工夫する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業の内容を全職員に広める。</li> <li>・ICT機器を有効的に使う。</li> <li>・新学習指導要領にあわせた学習カードの活用</li> </ul> </li> <li>○清潔しらべを毎週1回実施し、感染予防の意識をもつことができるようとする。</li> </ul>	B
<p>取組内容( )</p>	
<p>指標</p>	

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 取組内容①

主に算数科で習熟度別学習を行い、子どもたちが自分に合ったコースを選べるようにし、きめ細やかな指導を行ったことで学力の定着を図ることができた。他の教科でもクラスでペア、グループ、全体の意見交流をすることで、普段は積極的に発表しない子どももペアやグループでは課題解決のために考えたり自分の考えを言ったりすることができた。

指導力向上のため、年間計画に沿って研修を行うことができた。今年は英語タイムのための研修を行ったり、「基礎サポ」を新しく取り組んだりして子どもたちの意欲を高めることができた。

### 取組内容②

学校全体で体力向上の取り組み（なわとびタイムやかけ足タイムなど）を実施したこと、運動を楽しむ機会をもつことができた。また、70%の児童がアンケートで体育の授業が楽しいと回答し、意欲的に運動に親しむことができた。

清潔しらべでは、ハンカチ所持率91.7%、ティッシュ87.3%と、児童の衛生意識を高く維持することができた。

## 次年度への改善点

### 取組内容①

専科制が導入されると新体制での目標が必要になる。また、意見交流を活発に行うための工夫の共有や、掲示物などを作成する。

### 取組内容②

遊具の使い方の紹介は、年度初めに全員集合の場で確認した方が良い。

春の体力テストから秋の体力テストまでの期間にできる体力向上の手立てを考える。

大阪市立野中小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p><b>全市共通目標(小・学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用に関する目標(授業日において学習者用端末を週4日以上使用する。)</li> <li>・教職員の働き方改革に関する目標(ゆとりの日を週に1回設定・実施する。)</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業において学習者用端末を週3日以上使用し、ICTの効果的な活用を図る。</li> <li>○ ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。</li> <li>○ 児童に対する個別支援の体制を強化するために、教育ブロックの制度を活用し、学びサポーターの人材をより多く確保する。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</li> <li>○ 校内アンケート(保護者向け)の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を80%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向6 教育DX】</b></p> <p>ICTを効果的に活用し、児童の学習意欲を高め、個別最適な学びおよび協同的な学びを進めていく工夫をする。( )</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で週3日以上デジタルドリルを活用する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた問題に取り組ませ、学習の定着を図る。</li> </ul> </li> <li>○5・6年で、デジタル教科書児童用(算・英)を活用する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、英語のリスニング教材を活用し定着させる。</li> </ul> </li> <li>○教員のICT研修を実施し、活用能力を高める。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修日に学期に1回は、ICT研修を行う。</li> <li>・ショート研修によって教員のICT活用能力の向上を図る。</li> </ul> </li> </ul>	B
<p><b>取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b></p> <p>学びの場として、学校図書館を活性化し、授業での様々な学習における利活用を促進する。( )</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックトラックを全学年の廊下に設置する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年に各教科に関する本を集め、情報収集できるようにする。</li> <li>・ブックトラックの本を単元ごと、または月に1度は入れ替え、学習内容と合致するようにする。</li> <li>・図書資料をデータ化し、一人一台端末に保存することで児童が調べ学習をより</li> </ul> </li> </ul>	B

<p>活発にできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書への興味・関心を高める。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級に学級文庫を設置する。</li> <li>・図書委員会により、月1回学級文庫の入れ替えをする。</li> <li>・月1回図書館だよりを発行し、おすすめの図書の紹介をする。</li> </ul> </li> </ul>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協同した教育の推進】</b></p> <p>保護者や地域との交流を深め、地域の一員としての自覚を高めるとともに、学校の様子をより理解してもらえるよう情報発信の仕方を工夫する（ ）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域との交流を行う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ・昔あそび・おいもパーティー・ゲートボール体験等</li> </ul> </li> <li>○学校だよりを地域で回覧してもらう。</li> <li>○学校ホームページで情報を発信する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の更新回数を最低月2回する。</li> <li>・学年だよりを学校ホームページで閲覧できるようにする。</li> </ul> </li> <li>○地域とのボランティア活動(縦割り班清掃・地域清掃など)を実施する。</li> </ul>	B

#### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

##### 取組内容①

週3日以上のデジタルドリルの活用、デジタル教科書児童用の活用は、できているクラスと手がつけきれていないクラスとさまざまである。持続的に活用できるように使いやすさや興味関心の向上が必要である。

ICTの研修やICTアシスタントの方の協力もあり、教職員も児童も様々な活用ができるようになってきている。

##### 取組内容②

ブックトラックの常設、図書資料のデータ化、本に関する掲示を図書館司書との連携によりスムーズに行うことで、児童の本に対する興味を引き出すことができた。図書委員による図書館開放や学級文庫の設置が行われ、児童の読書の機会を増やすことができた。

##### 取組内容③

淀川河川敷ヘリバーウォッチャーへ行ったり、ステンシル体験や地域清掃をしたりして、地域や保護者との交流を深めることができた。特に去年度より交流の場を増やすことができ、地域の一員としての児童の意識が高まった。学校の情報発信について学校だよりをカラー印刷にしたり、ホームページの見直しをしたりして、より分かりやすく伝わるよう工夫できた。

## 次年度への改善点

### 取組内容①

週3日以上の活用をデジタルドリル、デジタル教科書児童用にあまり限定するのではなく、様々な面（調べ学習、Google の機能、カメラ・ビデオなど）で活用ができるように研修や環境を整えていくようにしていく。また、今後の社会の変化に対応できるように端末を「使用しないといけない」から「児童にどんな力をつけさせるために活用するのか」へと目的を明確にしながら計画を進めていく必要がある。

### 取組内容②

図書館司書と連携してできることを増やしていく。

### 取組内容③

学校ホームページについてはさらに改善できる余地がある。伝わりやすく見やすいホームページにするために、授業者以外の人が写真記録を分担するなど、組織的に取り組めばよい。

## 令和5年度 学校関係者評価報告書

大阪市立野中小学校学校協議会

### 1 総括についての評価

学校の本年度の取り組み結果を聞き、どの項目もほぼ達成できていたという印象を受けた。自己評価はBとなっているが、Aに近いのではないかと感じた。

課題があった児童の自尊感情についての結果がよくなってきており、よかったです。将来の夢を持てるようになるとさらによい。来年度も引き続き、自尊心の向上への取り組みをお願いしたい。

運営の計画にもあるように、はぐくみ等の団体が学校の活動をサポートしている。生き生きと子どもたちが活動をしている様子を見て、学校がよい指導をしていると感じている。感染症も落ち着き、様々な行事が再開され、子どもたちも喜んで活動しており、喜ばしい。

### 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

#### 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

##### 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

###### 全市共通目標(小・学校)

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

###### 学校の年度目標

- 2回実施する校内アンケートの「学校のきまりが守られていますか」「学校は楽しいですか」「友達と遊ぶのは楽しいですか」「すすんであいさつしていますか」の肯定的な回答を、どの学年も1回目より2回目を増加させる。
- 2回実施する校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、65%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては、Aに近いBであるという印象である。数年来低い傾向にあった自尊心に関しては、70%以上の肯定的回答が得られており、大変よかったです。学校は、課題としてあげている項目の改善にしっかりと取り組んでおり、成果も現れている。

#### 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

###### 全市共通目標(小学校)

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する

児童の割合を70%以上にする。

- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。

#### 学校の年度目標

- 小学校学力経年調査でどの学年も国語科および算数科の平均正答率を大阪市の平均より1ポイント向上させる。
  - 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。
  - 5年生については、教育委員会の「ブロック化による学校支援事業」、6年生については区役所「よど検」の事業を活用し、漢字能力検定試験に取り組むことで、基礎学力と学習意欲を向上させる。
  - 校内アンケートの2回目の「国語の学習は楽しいですか」の肯定的な回答を、どの学年も55%以上にする。
  - 小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。
  - 校内アンケートの2回目の「体育の授業は楽しいですか」の肯定的な回答を、どの学年も75%以上にする。
  - 1学期の体力テストの結果が良くなかった項目については、別の機会を設けて再度実施し、得点が向上するようにする。
- 
- 学力経年調査の結果は、目標を高く設定していることもあり、達成している学年と達成できなかった学年があるようだ。大阪市の平均を上回っているものもあり、学校は努力をしていると感じる。
  - 全国体力運動習慣調査は、特に男子に関しては、全国平均を上回る結果が出ており、運動が好きな児童も多い。取り組みの成果が表れている。

#### 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

##### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

###### 全市共通目標(小・学校)

- ・ICT活用に関する目標(授業日において学習者用端末を週4日以上使用する。)
- ・教職員の働き方改革に関する目標(ゆとりの日を週に1回設定・実施する。)

###### 学校の年度目標

- 授業において学習者用端末を週3日以上使用し、ICTの効果的な活用を図る。
- ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 児童に対する個別支援の体制を強化するために、教育ブロックの制度を活用し、学びサポーターの人材をより多く確保する。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 校内アンケート(保護者向け)の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を80%以上にする。

- 感染症も落ち着き、地域との交流も、再開している。よいことだと喜んでいる。子どもたちにとっても、よい影響が出ていると感じている。
- 保護者が学校に行く機会も増えており、学校の努力を感じる。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 感染症の落ち着きとともに、学校も色々な行事を再開できており、大変喜ばしいことだと思う。学校は、この機会を捉えて、よりよい行事のあり方を検討していると聞いている。地域との行事も再開し、子どもたちの笑顔も増えた。地域として学校に行くことも増えたが、子どもたちが生き生きと活動できている様子を見て、学校が良い指導を行っていることを感じている。
- 様々な対応で学校の負担も増えてきているように感じる。地域や区役所もさらなる協力をしたい。